



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジーダット

コード番号 3841 URL <http://www.iedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河内 一往

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 田口 康弘

TEL 03-5847-0312

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	789	—	72	—	68	—	68	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	35.81	—
28年3月期第2四半期	—	—

(注)平成28年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。個別業績の前年同四半期との比較は、添付資料P.9「4.補足情報」に記載しておりますので、ご参照ください。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,138	—	2,580	—	82.2	—
28年3月期	2,870	—	2,540	—	88.4	—

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,579百万円 28年3月期 2,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,750	12.8	160	28.1	160	29.1	126	15.3	65.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	1,950,000 株	28年3月期	1,950,000 株
29年3月期2Q	30,049 株	28年3月期	30,049 株
29年3月期2Q	1,919,951 株	28年3月期2Q	1,919,951 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
当社は、連結子会社であった愛績曼(上海)信息科技有限公司の全株式を譲渡したことにより、第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は第1四半期累計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における、当社の主要顧客である半導体およびFPD (Flat Panel Display) 等の国内電子部品業界の業績は、国内景気の減速傾向が鮮明になりつつある中、長期化する円高、欧州および中国等の景気後退、スマートフォン需要の低迷等の影響を受けて、一部の分野を除くと概ね横ばいから低下に移行し始めました。さらに主要企業間の再編も未だ途上であり、先行き不透明感は深いままの状況が続いております。

こういった状況の中当社は、国内市場において、プライベートセミナーを開催し、新世代の当社主力製品である「SX-Meister」の先進的なコンセプトを強力にアピールしました。さらに競争力のある代理販売品等を活用して、より広範囲な分野に対して幅広く営業活動を展開しました。また半導体受託設計サービスは、設計者を増強した効果もあり、大幅に業績を拡大しました。前事業年度にスタートしたEDAアウトソーシング事業は、社内外のリソースを有効に活用した結果、順調に進捗しました。海外市場においては、国際的な学会・展示会に革新的な新製品を出展して積極的に特長を紹介しました。売上が低迷している一部の国において、代理店の再編を実施して立て直しを図りました。

こうした活動の結果、売上高は、国内市場においては大いに伸長したものの、海外市場の低迷が大きく7億89百万円となりました。営業利益は、国内において利益率の高い商談を獲得したこともあり72百万円となりました。経常利益は、為替差損を計上したことにより68百万円となりました。四半期純利益は、繰延税金資産を計上したことにより68百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 当第2四半期会計期間の総資産、負債、純資産の概況

##### (資産の部)

総資産は、前事業年度末と比較して2億68百万円(9.3%)増加し31億38百万円となりました。内訳として、流動資産は2億76百万円(10.6%)増加し28億73百万円、固定資産は8百万円(3.0%)減少し2億65百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、有価証券3億円が満期償還となった一方で、現金及び預金が5億68百万円(29.1%)増加し25億21百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、投資有価証券が3百万円(1.6%)減少して2億18百万円になったこと及び、無形固定資産が2百万円(17.7%)減少し、13百万円となったことによるものであります。

##### (負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比較して2億28百万円(69.0%)増加し5億58百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が2億21百万円(160.1%)増加し3億59百万円となったことによるものであります。

##### (純資産の部)

純資産は、前事業年度末と比較して39百万円(1.6%)増加し25億80百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、利益剰余金の増加39百万円(4.3%)によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の88.4%から82.2%となりました。

#### ② 当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前事業年度末と比べ5億71百万円増加し15億95百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3億5百万円となりました。主な要因は、前受金が増加し2億21百万円となったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は2億97百万円となりました。主な要因は、有価証券の償還による収入3億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、28百万円となりました。内訳は、配当金の支払であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知お願います。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期累計期間において、四半期財務諸表への影響額はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,952,460	2,521,267
受取手形及び売掛金	212,518	199,480
電子記録債権	22,194	20,381
有価証券	300,000	-
仕掛品	-	13,359
原材料	3,594	6,499
繰延税金資産	24,411	33,634
その他	82,047	78,766
流動資産合計	2,597,226	2,873,389
固定資産		
有形固定資産	17,311	15,040
無形固定資産	15,895	13,087
投資その他の資産		
投資有価証券	222,139	218,578
その他	18,267	18,827
投資その他の資産合計	240,407	237,406
固定資産合計	273,613	265,534
資産合計	2,870,840	3,138,924
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	27,373	20,250
未払法人税等	8,096	15,375
賞与引当金	86,144	89,701
前受金	138,359	359,884
その他	70,531	73,425
流動負債合計	330,504	558,635
負債合計	330,504	558,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	921,397	961,349
自己株式	△32,742	△32,742
株主資本合計	2,539,219	2,579,172
新株予約権	1,116	1,116
純資産合計	2,540,335	2,580,288
負債純資産合計	2,870,840	3,138,924

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	789,633
売上原価	235,456
売上総利益	554,176
販売費及び一般管理費	481,447
営業利益	72,729
営業外収益	
受取利息	3,291
その他	447
営業外収益合計	3,739
営業外費用	
為替差損	5,960
投資事業組合運用損	1,547
その他	166
営業外費用合計	7,675
経常利益	68,793
税引前四半期純利益	68,793
法人税、住民税及び事業税	9,264
法人税等調整額	△9,223
法人税等合計	41
四半期純利益	68,751



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	68,793
減価償却費	7,012
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,557
投資事業組合運用損益(△は益)	1,547
受取利息	△3,291
売上債権の増減額(△は増加)	14,851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,264
前渡金の増減額(△は増加)	△8,039
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,123
未払金の増減額(△は減少)	1,100
前受金の増減額(△は減少)	221,525
その他	26,804
小計	310,473
利息の受取額	3,801
法人税等の支払額	△8,678
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>305,595</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△924,952
定期預金の払戻による収入	925,740
有形固定資産の取得による支出	△593
無形固定資産の取得による支出	△64
有価証券の償還による収入	300,000
その他	△2,483
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>297,646</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△28,799
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,799
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△2,743</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	571,699
現金及び現金同等物の期首残高	1,024,288
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,595,987

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

個別業績

経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	789	5.3	72	100.7	68	98.9	68	50.2
28年3月期第2四半期	750	7.2	36	△35.1	34	△49.5	45	△27.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	35.81	—
28年3月期第2四半期	23.84	—